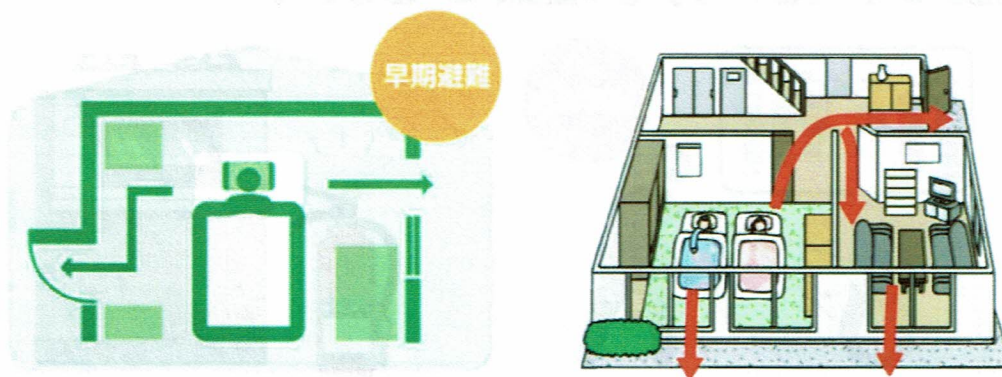


## 6つの対策 その5

お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



高齢者や体の不自由な方は、万一の火災の場合に避難しやすい場所で就寝することをおすすめします。窓や玄関・隣室など避難できる経路が複数あることが重要です。

また、部屋を整理することで出火や避難の障害など火災時の危険を大きく減らすことができます。

電気ストーブに雑誌やゴミ類が接触して  
着火した火災事例

～ 日常の整理整頓が大切です！

